

みょうじょうのことごと

第十六集
明星神社社務所

猛暑、酷暑という言葉が当たり前に飛び交うようになりました今年の夏ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

以前でしたら、9月も15日を過ぎたら秋の気配が感じられたものですが、今年はまだ残暑が居座っていますね。でも、20日頃には秋が本格化してくるようですので、この暑さももう少しの辛抱です。

さて、今回の「みょうじょうのことごと」は、去る9月14日（日）に斎行いたしました秋季例祭・敬老祭の様子をお届けいたします。

【 秋季例祭とは 】



明星神社の『秋季例祭』は、毎年9月の第2日曜日に斎行し、時期的に敬老の日も近いことから『敬老祭』も併せて斎行しています。

ところで、例祭ってどんなお祭りなの と思ったことはありませんか？ また、明星神社では春に『春季大祭』を4月の第2日曜日に斎行していますが、大祭と例祭は何が違うの、と思ったことはありませんか？

答えは、例祭とは「神社ごとに毎年必ず行う、最も重要で正式な神事」ということなのです。要するに、

神社の年間行事の中で一番大事な神事であり、例祭を行わない神社はありません。

では、大祭とはどのような神事であるかといいますと、「神社で行われる神事の中で、特に盛大に行われる神事」ではありますが、これを行わない神社もあります。

当神社では、この大事な例祭に各地区自治会長と氏子総代の参加を得て、この一年間 ご祭神よりいただいたご加護に感謝し、次の一年も日本と世界が平和であること、そして五穀豊穡とあらゆる産業の繁栄、氏子各位とご崇敬者様の家内安全と繁栄を明星の十柱のご祭神に祈ります。また、地域のご老人の健康と長寿も、併せて祈念しているのです。



【 令和七年の秋季例祭 】

本年の秋季例祭も、この一年間のご加護をご祭神に感謝し、次の一年間の平和と五穀豊穡、氏子各位・ご崇敬者様の家内安全などをお祈りしたのは例年通りでしたが、ひとつ例年と異なったのは神楽舞（かぐらまい）を披露したことでした。

神楽舞とは、神さまを楽しませるために神前で舞われる舞であり、神さまへの感謝を表すものです。

今回は、千の会代表の千種清美さんをお願いしまして、『浦安舞（うらやすのまい）』を舞っていただきました。



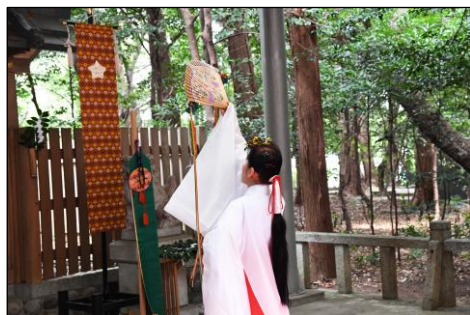
この『浦安舞』ですが、神楽舞としては比較的新しい舞で、昭和15（1940）年に昭和天皇の御製（和歌）に基づいて創作されたものです。



ところで、この舞の名前に「おや？」と思われた方も多いのではないのでしょうか。そう、浦安と言えばあの東京ディズニーリゾートで有名な地名ですね。

「浦安」という語の意味は「心の平安」ということであり、大昔には日本の国の別称（浦安国）としても使われたのです。

そして、千葉県浦安の地名はこの「浦安」の語が由来になってはいますが、舞の方とは無関係とのことでした。



この『浦安舞』ですが、「扇舞」と「鈴舞」から成り双方を演じるとおよそ10分の1長い演目なのですが、今回千種さんはこれを通して舞っていただきました。

おそらく、初めて神楽舞を見られる方も多かったのでしょうか、舞が演じられる間、来場の皆さんは咳一つ立てず舞をご覧になり、境内には厳粛な雰囲気漂ったのでした。



千種さん、今回は貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。また別の舞も拝見したいもの、と考えておりますので、その節にはまたよろしくお願いいたします。

【明星神社は、新しい氏子様をお迎えしたいです】

明星神社では、新たな氏子様を随時お迎えしています。

新たに明星地区にお住まいになった方は、お住まいの地区の組長さんか自治会長さんにご連絡いただければ、すぐに氏子様になっていただけます。

氏子様には、その証として右の「明星神社ストラップ」をお渡ししております。氏子費は、1,000円/年です。

あなたも、千年以上の歴史を持つ明星神社の氏子として、明星神社と一緒に守っていきませんか？ どうぞ、お気軽にご参加ください。

また、氏子にご参加いただいた方で、まだ「明星神社ストラップ」を受け取られていない方は、組長さんにお申し出ください。

明星神社の詳しい情報は、明星神社公式ホームページでご覧になってください。

また、インスタグラム、フェイスブックでも情報発信を行っておりますので、以下のQRコードからご覧になってください。



明星神社
公式ホームページ



明星神社
インスタグラム



明星神社
フェイスブック



以上